

エゾノヒメクラマゴケ

Selaginella helvetica (L.) Spring
イワヒバ科

【福井県カテゴリー】新：県域絶滅危惧Ⅱ類 旧：県域準絶滅危惧

【環境省カテゴリー】—

選定理由

生育地に限られ、個体数も少ない。

分 布

北海道～本州に分布。県内では奥越と嶺南西部に1箇所ずつ採集記録がある。

種の特徴

深山の岩場に生育する常緑性のシダ植物。主茎は匍匐し、葉は2形あり、4列に並ぶ。腹葉は卵形、長さ約1.5mm、先は尖らない。背葉の鋸歯が目立つ。孢子葉をつける枝は長く立ち上がり、1～2回二又に分枝する。孢子嚢穂は区別し難い。

生育を脅かす要因

産地局限、道路工事。

参考文献 岩槻邦男（1992）、福井県植物研究会（2000）

市 町 別 生育情報	若狭町	おおい町	高浜町	美浜町	小浜市	敦賀市	越前町	南越前町	池田町	永平寺町	坂井市	越前市	あわら市	鯖江市	勝山市	大野市	福井市
			○													○	

コハナヤスリ

Ophioglossum thermale Kom. var. *nipponicum* (Miyabe et Kudo) M.Nishida
ハナヤスリ科

【福井県カテゴリー】新：県域絶滅危惧Ⅱ類 旧：—

【環境省カテゴリー】—

選定理由

夏緑性の小型シダ類。針葉樹の林床や草地に生育する。嶺北地方の生育地は3箇所で嶺南地方には見られない。生育地が開発、採取圧によって減少している。

分 布

全国分布は北海道、本州、四国、九州まで。県内分布は嶺北に生育。

種の特徴

母種であるハマハナヤスリに比べ内陸性の傾向があり、葉質は薄く、葉の高さ15cm前後。栄養葉は中央部がもっとも広い。栄養葉と孢子葉の二形がある。

生育を脅かす要因

開発、環境悪化、採取圧。

参考文献 岩槻邦男編（1992）、中池敏之（1992）、渡辺定路（2003）

市 町 別 生育情報	若狭町	おおい町	高浜町	美浜町	小浜市	敦賀市	越前町	南越前町	池田町	永平寺町	坂井市	越前市	あわら市	鯖江市	勝山市	大野市	福井市
										○		○					○

ミズドクサ

Equisetum fluviatile L.
トクサ科

【福井県カテゴリー】新：県域絶滅危惧Ⅱ類 旧：県域準絶滅危惧

【環境省カテゴリー】—

選定理由

本県を分布の西限とし、産地も限られている。

分 布

北海道～本州（中部地方以北）に分布。県内では嶺北地方の一部及び嶺南地方の一部で確認されている。

種の特徴

日当たりの良い湿地に群生する夏緑性のシダ類。地下茎は浅い水底の地下を長く匍匐し、地上茎はしばしば群生する。茎は高さ1mに達し、径0.5～1cm、茎の壁は薄い。茎から枝を出す型と出さない型がある。孢子嚢穂は主茎に頂生し長さ1.2～2cm、柄の長さ8～30mm。

生育を脅かす要因

産地が限られていることによる。

参考文献 岩槻邦男編（1992）、福井県自然保護課編（2004）
福井県植物研究会（2000）

市 町 別 生育情報	若狭町	おおい町	高浜町	美浜町	小浜市	敦賀市	越前町	南越前町	池田町	永平寺町	坂井市	越前市	あわら市	鯖江市	勝山市	大野市	福井市
						○										○	○